

脳神経外科に通院中または通院歴のある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 髄膜腫における間質血管の反応性増生の病理組織学的研究：特に血管周皮細胞（pericyte）の関与に着目して

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・病理診断科 嘱託医 新宅 雅幸

《研究の目的》 脳・脊髄の髄膜腫の間質血管に認められる反応性増生の病理組織学的所見の詳細を明らかにするため

《研究期間》 研究許可の長の許可日～2026年5月末

《研究の方法》

●対象となる患者さん

脳もしくは脊髄の髄膜腫と診断された患者さんで、2020年1月1日から2025年7月末日までの間に、関西医科大学附属病院で手術を受けた方

●研究に用いる情報・試料の種類

【情報】 臨床所見（年齢）、病理学的所見（肉眼所見、組織所見、免疫組織学的所見）、手術関連所見（検体採取時の状況、手術の術式等）

【試料】 フォルマリン固定後に作成したパラフィン・ブロック（病理診断の残余検体）

《試料・情報の利用又は提供を開始する予定日》

2025年11月1日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはなく、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

研究責任者 関西医科大学附属病院 病理診断科 嘱託医 新宅 雅幸

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1

TEL：072-804-0101 FAX：072-804-2547